

Interactive Training in Communication-Japan



ITC80 年の歩み

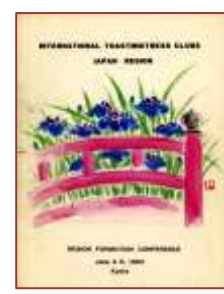
◇◇ ITC の歴史 ◇◇

ITC のミッション声明は「インターナショナル トレーニング イン コミュニケーションの使命は、コミュニケーションと指導力の質の高い訓練を通して、自己啓発のための国際的機会を提供すること」とし、「政治、社会、経済、人種又は宗教であれ、あらゆる課題について偏見のない自由で開かれた討議をはぐくむこと」を信条として、「今日のコミュニケーターを訓練しリーダーを養成することによって、明日のより良い世界を築くこと」をビジョン声明としています。コミュニケーション技術を通じ、社会に貢献する教育組織として成長しています。

年	沿 革
1938 昭和 13 年	<p>6 月 25 日 Ladies Forum, Women's Public Speaking Club, Toasties の名称などで其々に活動していたクラブが “Toastmistress” として合併し一つになった。</p> <p>9 月 “International Toastmistress Clubs” (ITC) の名称で、法人団体設立の契約書を米国カリフォルニア州に提出し法人として設立登録された。</p> <p>12 月 16 日 “International Toastmistress Clubs” の創設者アーネスティン F. ホワイト女史(Ernestine Frances White)が初代表となった。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="width: 80%;"> <p>「自分の考えを明確、簡潔に表現し伝達する能力を訓練するには、1人で孤立していたのでは不可能です。個人の成長はグループに貢献してこそ効果的であり豊かなものになります。熱心で素直で思いやりがあり思慮深い女性達が集まり自由に交われば学び合うことができるのです。」と挨拶した。10 月を「創設者の月」とした。</p> </div> </div> <p>12 月トーストミストレスマガジン創刊号 “TOASTMISTRESS” が発行された。</p>
1939 昭和 14 年	<p>第 1 回 ITC 大会が米国カリフォルニア州サンノゼで開催された。John N. Garner 米国副大統領からギャベルが贈呈された。米国西部地区で 20 クラブが設立登録された。</p>
1940 昭和 15 年	<p>第 2 回 ITC 大会が米国カリフォルニア州サンタバーバラで開催され、ITC のモットー「私達は言葉を愛し、優雅且つ流暢にそれを用いること」が採択された。</p> <p>International Toastmistress ピンが造られた。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 80%;"> <p>International Toastmistress ピンと CHARTER MEMBER チェーン</p> </div>  </div>
1941 昭和 16 年	<p>第 3 回 ITC 大会が米国カリフォルニア州ロサンゼルスで開催された。第二次世界大戦のためチャーターナンバー 1 のサンフランシスコを含む数クラブが活動を休止した。</p>
1942 昭和 17 年	<p>第 4 回 ITC 大会が米国カリフォルニア州デルモンテで開催された。</p> <p>スピーチコンテストが開始された。スピーカーは一時間前に論題が与えられスピーチの</p>

	時間は5分から7分であった。1952年、即席スピーチとなり演台に立った時に論題が与えられた。1965年、一週間前に論題が与えられたが、ITC大会では24時間前に論題が与えられた。1989年、現在の準備されたスピーチとなった。
1943 昭和18年	ITC創設者のアーネスティン ホワイト女史が1月22日38歳で夭逝した。彼女は「思いやり、才能、愛、ユーモア、熱愛、献身、そして偉大なビジョンをもった女性」であった。1943年-1945年、戦争のためITC大会の開催はなかった。
1946 昭和21年	第5回ITC大会が米国カリフォルニア州ロングビーチで開催された。 米国外で初めてカナダでクラブが設立された。
1947 昭和22年	第6回ITC大会が米国イリノイ州シカゴで開催された。 カウンスルが組織される以前にリージョンが組織されていたが、カウンスルが設立されITCの組織はクラブ、カウンスル、リージョン、国際の4レベルとなった。
1948 昭和23年	第7回ITC大会が米国ワシントンで開催された。スコットランドで最初のエディンバラクラブが設立された。発展を続け6リージョンが設立された。
1949 昭和24年	第8回ITC大会が米国ミネソタ州セントポールで開催された。 日本で初めて外国人のみの名古屋クラブ（認証番号273）が設立された。
1950 昭和25年	第9回ITC大会が米国カリフォルニア州パサデナで開催された。 評価者の英語表現が“Critic”から“Evaluator”に変更された。
1951 昭和26年	第10回ITC大会が米国コロラド州デンバーで開催された。日本の文部省から日本人が国際団体に加入できる許可が下り、日本人22名が名古屋クラブに入会した。
1953 昭和28年	第12回ITC大会が米国オレゴン州ポートランドで開催された。 ITCは6リージョンであったが、8リージョンが所属する組織となり発展を続けた。
1957 昭和32年	第16回ITC大会が米国テキサス州ダラスで開催された。 タイ、カサブランカ、モロッコ、プエルトリコ、フィリピンにクラブが設立された。
1960 昭和35年	第19回ITC大会が米国カリフォルニア州ロサンゼルスで開催された。 ITC宣誓が採択された。
1963 昭和38年	第22回ITC大会が米国カリフォルニア州サンフランシスコで開催された。 世界大会に出席しないクラブのために不在投票の制度が正式に承認された。 ITCの組織研究のため「機構委員会」が設置された。
1964 昭和39年	第23回ITC大会が米国コロラド州デンバーで開催された。 クラブ会員数30名を目標とする“Operation Game”が導入され60クラブが達成した。
1968	第27回ITC大会が米国外で初めてカナダのアルバータ州カルガリーで開催された。
1969 昭和44年	第28回ITC大会が米国オハイオ州クリーブランドで開催された。 米国外で初めてオーストラリアでリージョンが設立された。

<p>1970 昭和 45 年</p>	<p>第 29 回 ITC 大会が米国オレゴン州ポートランドで開催された。 イギリス、ニュージーランド、南アフリカでリージョンが設立された。 リチャード・ニクソン米国大統領のパトリシア・ニクソン夫人に ITC 初の名誉会員の称号がジーン・ウェーバー ITC 会長から贈呈された。 アポロ 13 号の宇宙飛行士が 3 枚のトーストミストレスの印章を月旅行に持参した。 宇宙船のエンジンの小爆発で月面着陸の予定は急遽変更され、到着寸前に U ターンし、地球に帰還したためトーストミストレスの印章は月面着陸できなかった。</p>
<p>1973 昭和 48 年</p>	<p>第 32 回 ITC 大会が米国ニューメキシコ州アルバカーキで開催された。 男性会員募集が奨励された。</p>
<p>1976 昭和 51 年</p>	<p>第 35 回 ITC 大会が米国カリフォルニア州ロサンゼルスで開催された。 “Region Supervisor” と “Council Chairman” の名称が “President” に変更された。</p>
<p>1977 昭和 52 年</p>	<p>第 36 回 ITC 大会が米国ワシントン D.C. で開催された。 日本語の資料作成のため、教育マニュアル翻訳に対し日本に 1,600USD が補助された。 7 月にクラブ役員マニュアル、12 月に教育マニュアルが日本語に翻訳され出版された。 ITC 本部の建物を得るため、「一つの煉瓦になりましょう、一つの煉瓦を買いましょう、夢を叶えましょう」の資金調達スローガンのもと建築基金キャンペーンが行われた。</p>
<p>1980 昭和 55 年</p>	<p>第 39 回 ITC 大会が米国ミズーリ州セントルイスで開催された。 資格認証プログラムが導入された。</p>
<p>1981 昭和 56 年</p>	<p>第 40 回 ITC 世界大会が米国ジョージア州アトランタで開催された。 会員の寄付と投資の配当金で ITC 本部の建物をローンで購入した。 10 月 31 日 ITC 本部がカリフォルニア州サンフランシスコからアナハイムに移転し、正式に ITC 本部が開設された。26 カ国に ITC が設立され会員数は 25,484 名となった。 オーストラリアの Norma W. Ewin が米国外で初の ITC 会長に就任した。</p>
<p>1982 昭和 57 年</p>	<p>第 41 回 ITC 大会がオーストラリアに於いて初めてシドニーで開催された。 E. Jean Turner が 1938 年から 1981 年までの ITC の歴史を編纂した “This is Toastmistress” が出版された。 「ITC 議事法マニュアル」が出版された。 日本リージョンが ITC の 27 番目のリージョンとして設立され、 1982 年 6 月 4 日、日本リージョン設立大会が京都パークホテルで 「友情の架け橋」のテーマで開催された。 Norma W. Ewin ITC 会長から日本リージョン設立を祝して 日本リージョンにスピーチコンテスト日本語優勝のプレート が寄贈された。 「日本リージョン設立大会冊子」</p>



<p>1983 昭和 58 年</p>	<p>第 42 回 ITC 大会が米国ボストンで開催された。ITC ミッション声明が採択された。 アイスランド、オランダに対して ITC 教育資料を翻訳することが許可された。 スペイン、ドイツ、アフリカで ITC 教育資料が各国の言語で独自翻訳された。</p>
<p>1984 昭和 59 年</p>	<p>第 43 回 ITC 大会が米国テキサス州ダラスで開催された。 英語圏外で初めて新木昌子(名古屋)が ITC 副会長 Div.VI(1984.08.01-’85.07.31)に選出された。 “International Toastmistress Clubs” の名称が変更され “International Training in Communication” とすることが採択された。1985 年 8 月 1 日から有効となった。</p>
<p>1985 昭和 60 年</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>International Toastmistress Clubs</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>International Training in Communication</p> </div> </div> <p>アイスランドリージョンが設立された。 教育マニュアル改訂版が発行された。 “EDUCATIONAL MANUAL”</p> 
<p>1988 昭和 63 年</p>	<p>第 47 回 ITC 大会が米国フロリダ州オーランドで開催された。 ITC 創立 50 周年記念行事のため立ち上げていた “A Golden Anniversary Committee” の活動の一環として、全世界の ITC で一斉にヘリウムを詰めた ITC カラーのブルーとゴールドの風船を打ち上げ祝った。</p>
<p>1989 昭和 64 年</p>	<p>第 48 回 ITC 大会が米国ネバダ州ラスベガスで開催された。 “Madam Toastmistress” は “Madam Program Leader” “Compere” となり “Madam Topic Mistress” は “Madam Topic Leader” に変更された。 トーストミスレスマガジンが “TOASTMISTRESS” から “ITC COMMUNICATOR” に改名された。 中国初のクラブが天安門事件 1 週間前に設立された。</p>
<p>1990 平成 2 年</p>	<p>第 49 回 ITC 大会がニュージーランドのオークランドで開催された。 バルク良子(神戸) が ITC 副会長 Div.VI (1990.08.01-’91.07.31) に選出された。 “ITC MASTER MANUAL” が出版された。 “ MASTER MANUAL”</p> 
<p>1991 平成 3 年</p>	<p>第 50 回 ITC 大会が米国ワシントン D.C.で「50 周年記念大会」として “A Capitol Experience” のテーマで開催された。グレイトレイクスリージョン会員の Ann Jacobs</p>

	<p>が 50 周年記念大会を祝い、30,000.00USD を ITC に寄贈した。</p> <p>PREM(広報、増設、会員)委員会が設置された。</p> <p>ITC ミッション声明文が変更された。ライティングコンテストが開始された。</p>
<p>1992 平成 4 年</p>	<p>第 51 回 ITC 世界大会が米国テキサス州サンアントニオで開催された。</p> <p>世界初の“Region of the Year”の最優秀リージョン賞と賞金 \$ 500 が日本リージョンに授与された。</p> <p>グリーンソン議事法ダイジェストが“ITC GLEASON’S”として発行された。</p> <p>ITC 本部ビル購入の募金として</p> <p>“Light the Flame ” ピンが販売された。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">“Light the Flame” ピン “ITC GLEASON’S ”</p>
<p>1993 平成 5 年</p>	<p>第 52 回 ITC 世界大会がカナダのエドモンドで開催された。</p> <p>「資格認証マニュアル改訂版」が発行され、資格認証の筆記試験が廃止された。</p> <p>ドイツとチェコにクラブが設立された。</p> <p>世界で 25 クラブが増設され、1993 年 6 月 30 日 ITC 会員は 15,043 名となった。</p>
<p>1994 平成 6 年</p>	<p>第 53 回 ITC 世界大会が米国ペンシルバニア州ピッツバーグで開催された。</p> <p>ITC 機構が 6 ディビジョンから 4 ディビジョンとなり、境界線が変更された。</p>
<p>1995 平成 7 年</p>	<p>第 54 回 ITC 世界大会が米国サンフランシスコで開催された。</p> <p>基金委員会から教育(Education)の“E”と基金(Endowment)の“E”を促進するため“E”ピンが販売された。</p> <p>コンピュータが購入された。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <p>“E” ピン</p> </div>
<p>1996 平成 8 年</p>	<p>第 55 回 ITC 世界大会がスコットランドのグラスゴーで開催された。</p> <p>ITC 本部ビル購入のローンを完済した。祝賀会が開催され日本からも祝賀会に出席した。</p>
<p>1997 平成 9 年</p>	<p>第 56 回 ITC 世界大会が米国リノで開催された。</p> <p>コンピュータネットワークが組織化され、ITC 役員会は e-mail を使用。ITC ホームページを開設し会則、スピーチコンテストとライティングコンテストの規則を掲載した。</p> <p>RMT(Region Management Training)が会員個人の能力を開発するための特別なプログラム PEP (Performance Enhancement Program)に変更された。</p> <p>ITC ミッション声明文が変更された。</p> <p>米国のゴールデンウェストリージョンとサウスアフリカのファンダースリージョンが最多クラブを増設し、特別賞金 300USD が其々のリージョンに授与された。</p> <p>多数の新会員を獲得したリージョンに 100USD が授与された。</p> <p>“Take Five to Gain Five”が導入され、5 人の会員獲得のため 5 分を使いましょうが奨</p>

	<p>励された。新会員 5 人を入会させた会員は 1 年間の年会費が無料となった。</p> <p>ITC 発足後の約 60 年間に設立されたクラブのチャーター番号が 3653 に達した。</p>
<p>1998 平成 10 年</p>	<p>第 57 回 ITC 世界大会が米国ミネソタ州ミネアポリスで開催された。</p> <p>設立 60 年の栄誉を称え “Diamond Anniversary Year of ITC ” と称し、1941 年 ITC に入会したミネアポリスクラブの Rose Dhein に最長継続会員として “ITC’s Diamond Member” の栄誉が授けられた。</p> <p>スペースシャトル・ディスカバリー号搭乗の向井千秋宇宙飛行士に ITC 賞を授与した。向井宇宙飛行士は賞状をアメリカ航空宇宙局 (NASA) に持参した。</p> <p>1998 年 1 月、日本リージョン事務局にコンピューターが設置された。</p>
<p>1999 平成 11 年</p>	<p>第 58 回 ITC 大会が 7 月 17 日－21 日神戸ポートピアホテルで「寿」のテーマで開催された。特別ゲストとして高円宮久子妃殿下のご臨席を賜りスピーチを頂戴した。</p> <p>ITC 大会に出席しないクラブが他クラブ会員に派遣員を依頼する “Hands Around the World Chain” (HAWC) 「世界をつなぐ輪」が世界大会での不在者投票を防ぐため導入された。</p> <p>Div. I と Div. II の境界線が変更された。</p> <p>PREM の方針とマニュアルが作成された。</p> <p>儀典マニュアルが出版された。</p> <p>「第 58 回 ITC 大会ピンと大会冊子」</p> <p>プレムから “One for One and One for All ” の企画が実施され、2 つのピンを合わせるとハート型になる “ハートピン” が新入会員と紹介した会員に贈られた。</p> <p>1977 年 7 月から 1999 年 3 月まで 22 年間 ITC に貢献した Muriel Bryant 事務局長が引退した。ITC 本部ビル購入のため指導力を発揮した業績を称え、ITC 本部ビルを Muriel Bryant 本部ビルと公式に命名した。</p> <p>1974 年から 25 年間勤務し、ITC 編集者を務めた JoAnn Levy が、“ITC COMMUNICATOR” Volume14/No.6 の編集を最後の任務として退職した。</p> <p>1999 年 8 月マガジンリエゾン委員会の Morley M.Hofer が編集者となった。</p>
<p>2000 平成 12 年</p>	<p>第 59 回 ITC 大会がカナダのトロントで開催された。</p> <p>ITC ビジョン声明が採択された。</p> <p>高円宮久子妃殿下から 2000 年 6 月 ITC 名誉会員の受諾を賜った。</p> <p>ITC 本部のコンピューター導入後 5 年の歳月を費やし ITCWebsite が整備され全ての資料がコンピューターで入手可能になった。</p> <p>Master E-mail list が作成され ITC 役員とリージョン会長に配布された。</p> <p>2000 年大会開催 “記念ピン”</p>



“ハートピン”



2000 年大会開催 “記念ピン”

<p>2001 平成 13 年</p>	<p>第 60 回 ITC 大会がカリフォルニア州アナハイムで開催された。 “ITC COMMUNICATOR” の発行回数を年 6 回から年 4 回とすることが採択された。 “ITC COMMUNICATOR”の会報が B5 サイズから A4 サイズの冊子となった。 “All Club Mailing” が電子機器による配信となった。</p>
<p>2002 平成 14 年</p>	<p>第 61 回 ITC 大会がバハマで開催された。 毎年開催されていた ITC 大会が、隔年開催とすることが決議され、2003 年 8 月 1 日から有効となった。</p>
<p>2003 平成 15 年</p>	<p>第 62 回 ITC 大会が南アフリカのダーバンで開催された。 泉 和子(阪神)が ITC 副会長 Div.IV (2003.08.01-’05.07.31) に選出された。 “POWER<i>talk</i> ITC” が発行された。 オールクラブメーリングが “From the Boardroom” (FtB) となった。 “International Management Service” (IMS) ITC 管理サービスがニュージーランドのタウランガで実施することが発表された。 カリフォルニア州アナハイムの ITC 本部ビルを売却した。ITC の歴史的資料は保存用ファイルに収められカリフォルニア州アナハイム文化遺産センター図書館に保管された。</p>
<p>2003 平成 15 年 2005 平成 17 年</p>	<p>初めての隔年開催の第 63 回世界大会が米国メリーランド州ボルティモアで開催された。 必須任命役員の “Communication Liaison Officer” (CLO)が全レベルに設置された。 サイバー役員会が開始された。“Fellow of ITC”の資格制度が発足した。 コスモポリタンスピーチコンテストが開始された。 マスターマニュアルにセクション V が追加され出版された。 ITC 会則が十進法表記となった。 “MASTER MANUAL”</p>
	
<p>2005 平成 17 年 2007</p>	<p>第 64 回世界大会がオーストラリアのブリスベンで開催された。 泉 和子(阪神)が ITC 副会長 Div.IV (2007.08.01-’09.07.31) に再選された。 ITC ブランド名として “POWER<i>talk</i> International” を付加することが発表された。 “POWER<i>talk</i> International Short Course” が出版された。 ITC 選出役員から会計が削除され書記が挿入された。</p>
<p>2007 平成 19 年 2009 平成 21 年</p>	<p>第 65 回世界大会がアラスカクルーズの豪華客船 Serenade of the Seas で開催された。 “POWER<i>talk</i> International” が正式にブランド名として採択された。 “POWER<i>talk</i> International” のピンがデザインされ販売された。 “POWER<i>talk</i> International Short Course Trainer” の資格制度が発足した。 “POWER<i>talk</i> International ” ロゴ</p>
	
<p>2009 平成 21 年</p>	<p>第 66 回 ITC 大会が米国インディアナ州インディアナポリスで開催された。 Div. I から Div.IVの分割線の設定が変更された。</p>

<p>2011 平成 23 年</p>	<p>“POWER<i>talk</i> International Training Weekend 2010” が 2010 年 10 月 22 日－24 日神戸ポートピアホテルで開催された。 スリランカの Ayubowan Club、日本の眉山クラブを含む 8 クラブが 設立された。</p>	
<p>“POWER<i>talk</i> International Training Weekend 2010” 大会冊子</p>		
<p>2011 平成 23 年</p> <p>2013 平成 25 年</p>	<p>第 67 回 ITC 大会がハワイのホノルルで開催された。 小菅あけみ(サンデー)が ITC 副会長 Div.IV (2013.08.01－’15.07.31) に選出された。 “International Management Service” (IMS) ITC 管理サービスがニュージーランド のタウランガから米国ネバダ州ボルダーで実施されることが決議され、通貨は NZD か ら USD になった。年会費は 93NZD が 90USD、大会協力金は 18NZD が 20USD と なり 2014 年 8 月 1 日から有効となることが採択された。 国際レベルの常任委員会から寄付・遺贈委員会と儀典委員会が削除された。 ITC Website が刷新され、“ITC COMMUNICATOR” が公式電子冊子となり “POWER<i>talking</i> Magazine” として ITCWebsite に掲載された。</p>	
<p>2013 平成 25 年</p> <p>2015 平成 27 年</p>	<p>第 68 回 ITC 大会がニュージーランドのロトルアで開催された。 小菅あけみ(サンデー)が ITC 副会長 Div.IV (2015.08.01－’17.07.31) に再選された。 クラブの資格認証委員会が必須ではなくなった。 「国際役員会から」(FtB) を含む通信は、電子的手段によって提供されることになった。 スピーチコンテストの規則が変更され、「全てのレベルで電子機材 によるメモを使用することが出来る」が付加された。 ITC は現在 4 Div.があり、12 リージョンが所属している。 E.Jean Turner が 1981 年－2015 年の歴史を編纂した “FROM TOASTMISTRESS TO ITC” が出版された。</p>	
<p>2015 平成 27 年</p> <p>2016 平成 28 年</p>	<p>エリザベス女王陛下がニュージーランドの Hilary Brown (タウポクラブ) に 地域社会とパブリックスピーキングへの貢献に対して QSM (The Queen's Service Medal 女王勲功章) を授与した。 2016 年 1 月 Hilary Brown はニュージーランド新年勲章授与式で QSM を受賞した。</p>	
<p>— 追記 (2017 年) —</p>		
<p>2017 平成 29 年</p>	<p>第 69 回 ITC 大会が米国ワシントン州シアトルで開催され「ITC 解散」の決議案が可決 された。1938 年の創設以来 80 年間脈々と引き継がれた ITC の歴史の幕が閉じられた。</p>	

日本リージョン第 34 期 教育・資料研究委員会監修・発行 2016 年 4 月

文 責：坂口正子 (ITC-J 大阪クラブ)

参考資料：FROM TOASTMISTRESS TO ITC ITC MASTER MANUAL

ITC COMMUNICATOR 日本リージョン会報 日本リージョン 30 周年沿革史

ITC-J 第 36 期 教育資料委員会 改訂 2018 年 5 月